



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 川崎化成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4117 URL <http://www.kk-chem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中川 淳一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大坪 孝幸 (TEL) 044-540-0110
 経営管理部門長
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,323	△21.5	△142	—	△120	—	△128	—
28年3月期第1四半期	4,231	△6.6	86	—	115	257.6	79	257.7

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △125百万円(—%) 28年3月期第1四半期 110百万円(65.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△3.33	—
28年3月期第1四半期	2.06	—

(注) 28年3月期第1四半期の経常利益は、表示方法の変更に伴い遡及修正を行っております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	18,553	13,456	72.5
28年3月期	20,096	13,697	68.2

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 13,456百万円 28年3月期 13,697百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,800	△20.5	5	△92.3	40	△62.9	10	△79.2	0.26
通期	14,700	△5.9	310	910.1	400	208.9	330	172.0	8.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	41,207,730株	28年3月期	41,207,730株
29年3月期1Q	2,513,434株	28年3月期	2,512,832株
29年3月期1Q	38,694,748株	28年3月期1Q	38,705,254株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益や雇用環境の改善等により、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気減速、英国のEU離脱問題による為替や株価への影響等、先行きに懸念材料を抱えております。

また、石油化学製品の市況に影響を与える原油価格につきましては、前年度第4四半期に漸く底打ちし、当第1四半期においては前年同期ほど急激ではないものの上昇局面となりました。

このような状況下、当社グループは新たな中期経営計画を4月からスタートさせ、収益力の高い「機能化学品の川崎化成」の確立を目指し、生・販・研が一体となって汎用化学品事業の基盤強化と機能化学品事業の拡大に向けた事業活動に取り組むと共に、新中期経営計画の実現を支えるエア・ウォーターグループとのシナジー効果の発現についても、グループ各社との連携により着実に成果を積み重ねております。

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高の大部分を占める化学品事業において、原油価格及び為替の影響により石油系製品の製品価格が下落したこと並びに可塑剤及びナフトキノンの販売数量が減少したことにより、売上高は3,323百万円（前年同期比908百万円減収・21.5%減）となりました。このうち、販売数量につきましては通期で前年度並となることを見込んでおります。

損益面では、主に原油価格変動により発生する原料・製品の受払差額が前年同期に比べ大幅に縮小したこと並びにナフトキノンの販売数量の減少の影響により、営業損益は142百万円の営業損失（前年同期は86百万円の営業利益）、経常損益は120百万円の経常損失（前年同期は115百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損益は128百万円の四半期純損失（前年同期は79百万円の四半期純利益）となりました。

これを事業別に見ますと次のとおりであります。

① 化学品事業

・有機酸製品

無水フタル酸は、国内販売の減少を輸出でカバーしたことにより販売数量は増加したものの、原料価格の下落に応じた価格対応により減収となりました。

その他の有機酸につきましては、コハク酸は生分解性樹脂用途の販売数量が減少し大幅な減収となりました。フマル酸は前年同期並の売上となりました。

・有機酸系誘導品

有機酸系誘導品につきましては、可塑剤は数量の減少及び原料価格の下落に応じた価格対応により大幅な減収となりました。このうち、販売数量につきましては通期で前年度並となることを見込んでおります。マキシモール®は、原料価格の下落に応じた価格対応を行いました、販売数量の増加により若干の減収に止まりました。

・キノン系製品

ナフトキノンの販売数量は、販売が集中した前年同期に比べると大幅な減収となりました。このうち、ナフトキノンの販売数量につきましては通期で前年度並となることを見込んでおります。パルプ蒸解助剤SAQ®及びアントラキノンは、輸出が増加し増収となりました。脱硫触媒NQ S®は、販売数量が拡大し大幅な増収となりました。

以上の結果、化学品事業全体としての売上高は3,298百万円（前年同期比911百万円減収・21.7%減）、営業損益は145百万円の営業損失（前年同期は87百万円の営業利益）となりました。

② その他の事業

その他の事業につきましては、地域支援サービス事業の拡大により売上高は24百万円（前年同期比3百万円増収・18.9%増）、営業損益は2百万円の営業利益（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は18,553百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,542百万円減少いたしました。

流動資産は、主に有価証券及び短期貸付金の減少により、前連結会計年度末に比べ1,406百万円減少し、8,234百万円となりました。

固定資産は、主に減価償却による有形固定資産の減少により、前連結会計年度末に比べ136百万円減少し、10,319百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は5,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,301百万円減少いたしました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金の減少により、前連結会計年度末に比べ512百万円減少し、3,030百万円となりました。

固定負債は、主に退職給付に係る負債の減少により、前連結会計年度末に比べ788百万円減少し、2,066百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は13,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ241百万円減少いたしました。

株主資本は、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払により、前連結会計年度末に比べ245百万円減少し、9,971百万円となりました。

その他の包括利益累計額は、前連結会計年度末とほぼ同額の3,484百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本年5月11日に発表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	267	314
受取手形及び売掛金	3,910	3,827
有価証券	700	-
商品及び製品	1,796	1,855
仕掛品	114	182
原材料及び貯蔵品	379	429
短期貸付金	2,350	1,470
その他	121	154
流動資産合計	9,641	8,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,754	1,727
機械装置及び運搬具(純額)	1,845	1,727
土地	5,862	5,862
その他(純額)	167	197
有形固定資産合計	9,630	9,514
無形固定資産	78	67
投資その他の資産	747	736
固定資産合計	10,455	10,319
資産合計	20,096	18,553
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,097	1,761
未払法人税等	17	13
賞与引当金	173	69
修繕引当金	74	112
その他	1,179	1,073
流動負債合計	3,543	3,030
固定負債		
リース債務	38	32
再評価に係る繰延税金負債	1,464	1,464
繰延税金負債	152	149
役員退職慰労引当金	65	14
退職給付に係る負債	898	168
資産除去債務	235	236
固定負債合計	2,855	2,066
負債合計	6,398	5,097

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,282	6,282
資本剰余金	2,549	2,549
利益剰余金	1,788	1,543
自己株式	△404	△404
株主資本合計	10,216	9,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	302	296
土地再評価差額金	3,321	3,321
退職給付に係る調整累計額	△142	△133
その他の包括利益累計額合計	3,481	3,484
純資産合計	13,697	13,456
負債純資産合計	20,096	18,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,231	3,323
売上原価	3,638	2,947
売上総利益	592	376
販売費及び一般管理費	506	518
営業利益又は営業損失(△)	86	△142
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	6
固定資産賃貸料	13	13
その他	3	1
営業外収益合計	30	22
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益又は経常損失(△)	115	△120
特別損失		
固定資産除却損	18	7
特別損失合計	18	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	97	△127
法人税、住民税及び事業税	17	1
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	17	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79	△128
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	79	△128

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	79	△128
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	△6
退職給付に係る調整額	5	9
その他の包括利益合計	30	3
四半期包括利益	110	△125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110	△125
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,210	20	4,231	—	4,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	26	26	△26	—
計	4,210	47	4,258	△26	4,231
セグメント利益又は損失(△)	87	△2	85	0	86

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表計上額 (注)2
	化学品事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,298	24	3,323	—	3,323
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	27	27	△27	—
計	3,298	52	3,351	△27	3,323
セグメント利益又は損失(△)	△145	2	△143	0	△142

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、グループ内設備取引に係る未実現利益実現等によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。